

RI テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

創 立/1954年(昭和29年)6月30日

事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL. 0778-23-5210・FAX. 0778-22-2333 E-mail: takefur@es.ttn.ne.jp

TAKEFU WEEKLY

Rotary



例会日/毎週火曜日

例会場/武生商工会館

会 長/白崎 弘康

幹 事/三田村 士郎

会報委員長/柿谷 好彦

第3175回 例会記録 令和2年12月1日(火)

本日出席会員 38名

メイクアップ(前々回) 2名

出席率(前々回補正) 80.77%

「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト ガバナー 松原六郎氏

ガバナー補佐 山本 等氏

会員総数
52名

副会長挨拶 副会長 小林 幸一



本日のご来賓の紹介をさせていただきます。第2650地区ガバナー松原六郎様、ガバナー補佐の山本等様です。今日はお忙しい中、お越しいただきましてありがとうございます。武生RCそして武生府中RC会員一同、心より歓迎を申し上げます。午前中には、会長幹事役員懇談会を開催させていただき、松原六郎ガバナーは福井出身ということで、懇談会も和気あいあいの中で色々ご指導賜りました。それを今後のクラブ運営に活かして参りたいと思います。松原ガバナーのロータリーにおけるプロフィールを拝見しますと、クラブ会長はもとよりIM実行委員長などを歴任し、また地区においてはガバナー補佐やポリオミッション、東日本災害復興支援などに尽力され、RI会長賞を2度も受賞されています。また、ロータリー財団メジャードナー、ベネファクター、ポールハリスソサエティーも認証されておられます。

2020～2021年度国際ロータリー会長のホルガー・クナーク会長は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げられ、これを受けて、第2650地区松原六郎ガバナーは「ロータリーの原点に返る」誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へを地区のスローガンとされました。新型コロナウイルス感染症の影響でクラブの活動も大きな制約を受けていますが、非常時

の今こそ「原点に返る」ことが求められると思います。今年度、武生ロータリークラブのテーマは「明日に繋げて行こう」とさせていただきました。新型コロナウイルスにより停滞を余儀なくされたクラブ運営・奉仕活動を取り戻し、自クラブ及び地域社会の明日に繋がる運営・奉仕に取り組みたいと思います。コロナ禍に対し、防止するような奉仕事業を行っていきたくと思います。次に掲げますのは、武生ロータリークラブの重点目標です。

○クラブの基盤を固める親睦活動を重視する。

○職業奉仕を基本に、その他奉仕活動へ展開する。

○各委員長の意向を重視し、会員相互の自由闊達な意見交換を基に事業を進める。

伝統ある歴史を踏まえ、生きがいや楽しさなどと活力のある武生ロータリークラブとなるよう努力したいと思っております。最後になりますが、今年1年、松原ガバナーのご指導をいただきながら、武生RCそして武生府中RC会員一同、共に充実したクラブ活動を行いたいと思っておりますので、この後ガバナーアドレスをお願いし、ご指導を頂きます。よろしく願いいたします。

プログラム ガバナーアドレス



トレンドニュースが2つあります。2022-2023年度のRI会長は女性になります。ロータリー始まって以来の女性のRI会長です。ジェニハージョーズさんで、カナダのトロント近くのRCのロータリアンです。これは女性にとって飛躍の年になるだろうと思っています。2つ目のトレンドニュースは、6つの重点項目にもう一つ7つ目の重点項目が来年7月から募集を始めます。環境の保全であります。森林破壊あるいは海のマイクロプラスチックの問題、タンカー流出事故による環境汚染の問題、色んなことがグローバル補助金の対象となります。この際、グローバル補助金に挑戦をして頂く事もお考え頂ければと思います。ホルガー・クナーク氏の掲げたテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。3つのカラーをお考え下さい。真

の今こそ「原点に返る」ことが求められると思います。今年度、武生ロータリークラブのテーマは「明日に繋げて行こう」とさせていただきました。新型コロナウイルスにより停滞を余儀なくされたクラブ運営・奉仕活動を取り戻し、自クラブ及び地域社会の明日に繋がる運営・奉仕に取り組みたいと思います。コロナ禍に対し、防止するような奉仕事業を行っていきたくと思います。次に掲げますのは、武生ロータリークラブの重点目標です。

ん中はロータリーゴールド、右はロータリーブルーです。左は間違いなく克蘭ベリーレッドです。これはロータリーアクトのシンボルカラーです。明らかに機会の扉を若者にも開こうと示していることをご理解頂ければと思います。今年度地区スローガンを、「ロータリーの原点に戻る 誠意をもって語り合い、勇気をもってともに未来へ」とさせていただきます。私自身はこのスローガンを RI の変革の先にあるものと、皆様のクラブの独自性とをどのように折り合いをつければ良いのか話し合っていたいただきたく掲げました。しかし、この世界的感染状況の中、否が応でも、我々の行為で、何が大切で、何が大切でないかを考えなければならなくなり、まさに「原点に返らざるを得ない」事態となってしまうました。

そこで、この事態に呼応すべく地区の3つの基本方針、9つの運営方針を見直しさせていただきました。

1.自らがウイルスに感染せず、人に感染させないことに最大限注意しながら、ご家族と、我々が生業を守る職業奉仕を全うする。簡単に言いますと、来年の6月31日まで無事でいて下さい。これが私の最大唯一の目標であります。仲間を守っていただきたい。さらに、ロータリーアクター、インターアクター、各財団の奨学生を含め未来を担う全ての若者を守っていただきたいと存じます。

2.今一度ロータリーの原点に戻り、ロータリークラブ一つひとつ、ロータリアンお一人おひとりと誠意をもって語りあう。大切なこと、良いことは皆で共有し、勇気をもって共に未来に向かって実践していく。この実践は間違いなく、感染拡大が収束した後に、間違いなくやってくる新しい時代に適応した大きな改革となることでしょう。

3.少しでも余力のあるロータリアン、ロータリークラブから、新型コロナウイルスや様々な災害によって被災した人々に寄り添い、勇気を取り戻すために社会奉仕活動を実践する。また、ポリオ根絶のための取り組みに挑戦する。つまり「地域を守る」社会奉仕の実践をお願いしたいと存じます。

また、財団などへの支援金については、将来のため、若者のために何とか確保していただきたいと考えています。具体的な目標額を申し上げますと、年次基金お一人 180 ドル、ポリオプラス 30 ドル、ほかにも恒久基金、大口寄付などもございます。米山奨学金は 24,000 円、ロータリー希望の風奨学金は 5,000 円、ご無理を申し上げて誠に恐縮ですが、未来のため、若者たちのため、これらだけはどうしても守り抜くことをお願いしたいと存じます。各項目については、各地区委員会の委員の皆様が、厳しい状況下でも最善の努力を続けてくださっておりますので、それぞれが発する

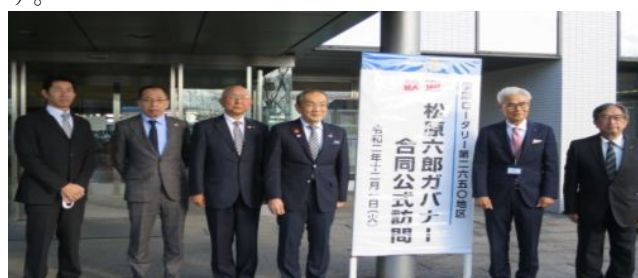
情報をお聞きいただき、積極的に行動していただきたくお願い申し上げます。そして、これらの行為は、ロータリー賞、ガバナー賞につながるものです。どうか、いずれも取得して、歩みを進める通過点の印として頂きたいと存じます。

私は自身のロータリーの原点に思いを巡らせている時でした。ある日、あるコラムに出会いました。1964年東京オリンピックが終わった日のことが書いてありました。書いたのはジム・ミュレという新聞記者でした。彼は取材が終わり、羽田空港から帰路に就く飛行機の中にいたのでしょう。

「サヨウナラ、日本
サヨウナラ・・・電光掲示板の文字が闇に浮かぶ・・・。
日本人にとって国を挙げての大事業は終わり、メダルは渡され、幕は下ろされた。

だが、雨宿りをしていたら、傘をさしかけてくれた少年。土砂降りの雨の中、自らレインコートを脱いで貸してくれた青年。チップを受け取らないタクシーの運転手。笑顔のエレベーターガール。

・・・サヨウナラ、美しい親切な国、日本。
私は、この国全体に金メダルを贈りたい。」
これからどんどん変化していくロータリーや地域社会の中にあっても、私はこのコラムに出てくるような日本人の一人のロータリアンとして居続けたいと思いません。



ニコニコ箱・・・55,000円 累計 452,500円

・国際ロータリー第 2650 地区 武生府中 RC、武生 RC 合同例会訪問を自祝して

【松原六郎ガバナー】【山本等ガバナー補佐】
・松原六郎ガバナーようこそ武生へ
新しい扉が開きました。 【渡辺佳男】

松原六郎ガバナーの公式訪問に敬意を表しまして、出席者全員からいただきました。

例会変更情報／福井県内ビジター受付 (12月16日～12月29日)

ビジター受付はありません。

*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(12月15日)例会	12月22日	12月29日	1月5日
第一例会行事	クリスマス例会	休 会	休 会
年次総会	「二胡で奏でる Xmas」		
健康卓話	小林寛明氏		